

第 6 回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和 3 年 9 月 6 日(月) PM7:00～PM8:00

場 所 大海公民館

出席者 委員 25 名(オンライン参加 23 名) 事務局 3 名

次第

- 1 会長あいさつ
 - 2 議事
 - (1) 令和 4 年度地域自治区予算の策定について
 - (2) 地域マネージャー検討会の発足について
 - 3 連絡事項
 - (1) 令和 3 年度地域自治区予算事業の進捗状況について
 - (2) 中学生議会とのコラボについて
-

1 副会長あいさつ

- ・稲垣会長が欠席のため私が代行させていただく。
- ・緊急事態宣言発令中のため閉会を 20 時としたい。

2 議事

協議会の会議録署名

- ・定数 30 人のところ 25 人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を 2 名指名し署名をお願いした。

(1) 令和 4 年度地域自治区予算の策定について

第 4 回地域協議会で出た意見について、事務局が担当課等と調整した結果を報告した。

○主な意見

- 委員 各事業において消耗品費にフラットファイル購入とあるが、これは毎年買わないといけないのか。
- 事務局 確かにフラットファイルは毎年は必要ないかもしれない。消耗品費の積算としては、茶話会を開催する際の模造紙やペンや紙類等。会の活動に応じて流動的に変わっていくと思われるので、このくらいの額は必要と考える。
- 委員 地域防災連携促進事業の視察代として、長野県飯田市までの高速道路使用料を取っているが、下道を使っても同じくらいの時間で到着する。距離も 250km あれば往復可能。事故や渋滞が生じると予約した時間に間に合わない。高速道路使用料は不要では。
- 事務局 現段階では、会の中で長野県飯田市を視察先の候補としているが、会の活動状況によっては、視察先の変更もありうる。そのことも視野に入れながら流動的な対応が必要となるので、高速道路使用料を取っておくことが必要だと考える。

- 委員 視察先が変わるかもとなると提案理由がない。しっかりしといた方が良い。
- 事務局 この部分は市役所内部の話で、こちらでしっかりと担当部局に説明をするので任せて欲しい。
- 委員 視察の目的地が変わるのであれば報告して欲しい。
- 委員 スポーツバイク普及推進事業について、令和6年度にはトータル事業費として1,000万円に近くなる。このことをどう考えていくのか。地域自治区予算をずっと使い続けていくのか。すぐにといいことではないが、地域協議会の方針としてしっかりと決めていく必要があるのでは。
- 事務局 昨年度の地域協議会で、まずは地域自治区予算で3カ年予算を取って、その後は自立を促そうという話であった。実行団体の中でも当初から自立していこうという話をしているが、パークの入場料を子供からとれるのかという課題もある。稼いでいくのはなかなか難しいと感じている。地域協議会としてもアドバイスや方針を立てていただけるとありがたい。
- 委員 地域交通検討事業について、前回地域協議会として予算の増額をお願いした。足を考える会の皆さまの今後の努力を期待している。また、事業費を計算してみたが予算額の合計が違うのでは。あと、委員が7人から10人になった理由は。
- 事務局 当初7人だったが、前回の足を考える会の会議の中で、東郷に合った地域交通の仕組みを茶話会を通して住民の皆さんと一緒に深掘りしていきたい、そのための茶話会の回数を増やしたいとなった。ただ、その場合7人での運営は人数的に厳しいので、委員を追加募集し10人分の予算を取ったらどうかとなった。また、予算額については、科目ごとに千円単位を切り上げるのでこの額となっている。ただ、今後最終チェックをしていく中で、数字上の誤りがある場合もあるので、その際は修正させて欲しい。
- 委員 この予算を決める場というのは、本来、地域協議会の私たちがお金の使い道を提案する場だと思う。一番私が気にしているのが、私達が予算の使い道の提案として本来与えられている約1,000万円という予算上限額に対して、総額が674万円までの事業予算しか、今のところ予算案が出されていないというところ。予算を細かく削ったりするところはもちろん市議会もあつたり、市役所の中でもチェックされると思うが、本来は、私たちがこういうことを伝えたいと、どんどん案を出すべきところだと思う。もちろん細かい法律など私も分かっていないところはいっぱいあるが、そういったところはチェックする機能が他にもあると思うので、今ここでこんなこと言っても遅いが、もう少し案を出すべきだったかなと思う。5年前は正直言って、担当者が色々なところで予算の使い道について聞いていた。しかし、今は状況が変わっていて、地域計画もでき、いろんな事業が進んできている。つまり、私たちが自分たちで考えていろんな案を出すという状況下になっているということは、理解をしていただきたいなと前回から思っています。つまり、逆に言えば、もちろんお金を無駄遣いしちゃいけないって、すごく当たり前のことだけれども、1,000万円という予算の使い道の提案権を与えられているにもかかわらず、この674万円どまりになっているというのも、正直言ってコロナのせいでもあるので、なかなか難しいと思っているが、そういったところも逆に気になると正直思っている。それだけ言わせてほしい。
- 委員 地域自治区予算事業計画案のパブリックコメントの意見を出す様式は特に定められ

ていないことを地域協議会だよりに記載していただくと、もう少し意見を出しやすくなるのではないかと。

事務局 地域協議会だよりをそのように修正させていただく。

市村副会長 ケッターパークについて、先日中学生との意見交換の際に、看板を作ったらどうかという意見が出た。中学生の子たちからせつかく意見をもらったので、看板作成費も予算に入れていただきたい。

事務局 提案してもらった中学生たちに看板のデザインを作ってもらうようなイベントを今年10月に検討している。そのデザインを元に看板を作る予算として、今年度のケッターパークの予算の中から捻出したいと思っている。

委員 東郷の防災を考える会の準備会はいつ出来たのか。発足の経緯を説明してほしい。

事務局 令和元年度末に東郷の防災を考えたいという自主的な住民の動きがあり、何回か会合を設けた。しかし、コロナが広まってきたので会議が出来なくなってしまっていた。その一方で、同タイミングで昨年度の地域協議会からも東郷の防災を考える会を立ち上げる提案があったので、すでに活動をされていたその会にお願いをしている。ただ、あくまでも準備会なので、11月に予定している防災茶話会での参加者を中心に正式な防災を考える会を作りたいという流れとなっている。正式なメンバーが固まったら協議会に報告する必要がある。

委員 資料に載せる以上はどうしてそうなったかという説明がほしい。今後のご留意いただきたい。

赤副会長 今後できるだけ報告を先にするようにしたい。

【決定事項】

令和4年度地域自治区予算事業計画案は原案のとおり決定となった。9月15日から10月4日までの期間に区長発送にて地域協議会だよりに通して住民の意見を聴く。

(2) 地域マネージャー検討会の発足について

時間の関係上、次回の地域協議会に先延ばしとなった。

(主な意見)

委員 地方自治体の色々な制度に関わるものとなるので皆さんがご理解いただけるか。

赤副会長 あくまでも検討会を催すかどうかの判断をしていただくだけ。10月11日ならば緊急事態宣言も解除されていてももう少し長く会議ができるだろう。

【決定事項】

予備日となっていた10月11日(月)を第7回地域協議会として開催することとなった。

日時: 令和3年10月11日(月) 19時から

形式: オンライン会議 (※環境がない方は大海公民館に)

議事: 地域マネージャー検討会の発足について

3 連絡事項

(1) 令和3年度地域自治区予算事業の進捗状況について

・地域防災連携促進事業

東郷の防災を考える会準備会で11月に東郷防災ミーティングの開催を予定している。内容は東郷地域で起こり得る災害を知ろうということで、ハザードマップの見方を知ってもらう。その後で、地区ごとにグループに分かれて地域防災を茶話会形式で話し合う。この茶話会を機に、防災を考える会を設立し、この地域の災害について考えていける会を作っていきたい。

(主な意見)

委員 チラシの参加申し込み欄に役職と書いてあると役職がないと参加できないと思われてしまうので削除された方がいいのでは。また、コロナで開催ができないかもしれないので、その文章を追記した方がいいのでは。

委員 各区長さんに参加をお願いしようという話だったので役職という記載をした。それが参加のネックになるのかを一度会で検討したい。コロナで開催ができるか分からないが、企画だけは進めていきたい。ご指摘の文を入れるようにしたい。

・横断歩道手旗設置

8月末に計20箇所の手旗設置完了。9月から小学校の協力のもと運用予定。

(2) 中学生議会とのコラボについて

8月22日に中学生議会があり、地域協議会委員5人が参加され、中学生からケッターパーク等についての提案があった。中学生の意見を実現するため、中学生と地域協議会、ケッターパーク運営委員の皆さんと一緒にインスタ映えする看板づくりワークショップを開催する予定。

(参加委員からの意見)

- ・かなり現実的な案が出ていた。あとは今年度というとなかなか難しいが、来年度以降地域協議会でどうやって生かしていくかというのは大人側の課題かなと思う。皆さんが前向きにいろんな考えを大人なりにこうやったらできるんじゃないかという方法をたくさん中学生側に出してあげると、よりよい東郷地域になると思うので、皆さん一緒に頑張りましょう。
- ・子供たちが考えた案を形にしてあげたいと思う。せっかくなら話し合っただけでなく、きちんと形にして、私達が考えたことが何かできたなと思ってもらいたい。すごくちっちゃい地域協議会を見てるような感じがした。私達も今予算を考えてこの予算で作られたものが形になっていくっていうのをみると、何気なく嬉しいなと、ケッターパークも実はその一つだが。だからこういう子たちが育っていくと将来の地域協議会のメンバーになってくるんじゃないかな。その間に若者議会もあるが。
- ・中学校の裏にあるのに、知らないっていう子が多かった。やっぱり私たちが発信する方もそうだけれども、どういうふうに伝えるかというのがすごく難しいなと思った。それと、やっぱり中学生の視点で見てくれて、いっぱい案が出て、とても頼もしく思った。
- ・できれば、地域協議会に中学生がちらほらと入ってくれて、生の声を聞いてもらえると、皆さんもこんな意見があるんだなということを理解していただける。また機会があれば皆さんも参加いただけるとありがたい。

【20:00 終了】